

長期プロジェクト  
山口県報告書

JICA  
615  
98.2  
MCS  
LIBRARY



メキシコ人口家族計画プロジェクト  
計画打合せ調査団報告書

1985年7月

国際協力事業団  
医療協力部

|                     |      |
|---------------------|------|
| 国際協力事業団             |      |
| 受入<br>月日 '85. 9. 24 | 615  |
| 登録No. 11981         | 98.2 |
|                     | MCS  |

## は し が き

わが国のメキシコ共和国に対する人口家族計画プロジェクト協力は、1984年7月に締結されたR/D(討議々事録)に基づき開始され、現在に至っている。

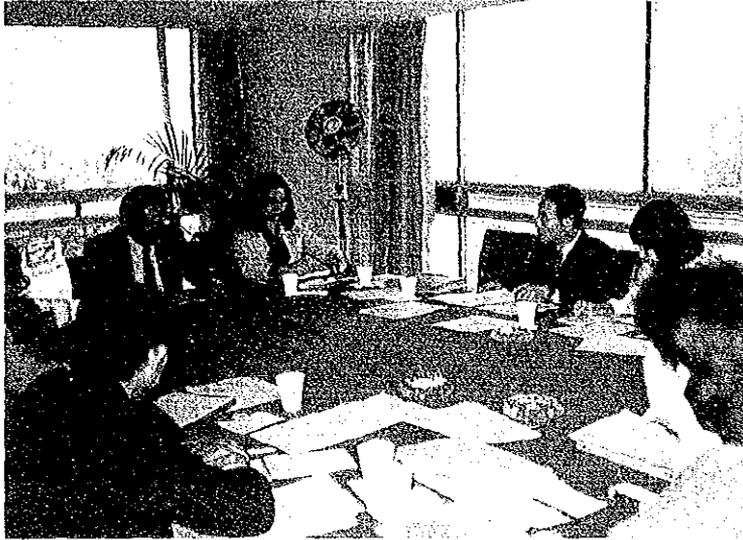
今般、協力の実施状況の把握及び年次計画策定のため本件計画打合せ調査団を派遣したものである。ここに本調査団の団員ならびに調査団の派遣にご協力いただいた関係各位に対し深甚なる謝意を表すると共に、今後の本件プロジェクトの実施・運営にあたり関係各位の一層のご協力をお願いする次第である。

1985年7月

国際協力事業団

理事 末 永 昌 介





CONAPOとの協議

左：マルチネス総長

中：武田調整員

右：小林田長







フエブラ州人口審議会  
(COEPO)  
中央：事務局長

COEPOとの協議



ミニッツ署名  
左：小園副長  
中：マルチネス総長  
右：サーベドラ局長



## 目 次

|                       |    |
|-----------------------|----|
| I 調査団派遣の経緯と目的 .....   | 1  |
| II 調査団構成 .....        | 1  |
| III 調査日程 .....        | 2  |
| IV 調査報告 .....         | 3  |
| 1. 人口統計関係(大友 篤) ..... | 3  |
| 2. 総括(小林和正) .....     | 8  |
| V 添付資料 .....          | 11 |
| ・ミニッツ英文 .....         | 11 |
| ・ミニッツ西文 .....         | 20 |



## I 調査団派遣の経緯と目的

1982年に発足したデラマドリ政権も、国家開発計画の成否を左右するものとして人口計画を重視し、今般、CONAPO (Consejo Nacional de Poblacion/国家人口審議会)より、人口問題解決の一環として、人口活動の促進に対する協力をわが国に要請したものである。この要請を受け、事前調査団及び協力計画策定専門家チームを派遣し、1984年7月4日にR/Dを締結し協力が開始された。初年度の協力が終了したことから、プロジェクトの実施状況を調査するとともに協力の実施にかかる年次計画の策定等具体的事項につきCONAPOと打合せを行うため、本件調査団を派遣することとなったものである。

## II 調査団の編成

- |         |                       |
|---------|-----------------------|
| (1) 団 長 | 小 林 和 正 (総 括)         |
|         | 日本大学人口研究所教授           |
| (2) 団 員 | 大 友 篤 (人口統計)          |
|         | 宇都宮大学教養部教授            |
| (3) 団 員 | 畑 満 (人口政策)            |
|         | 厚生省大臣官房政策課課長補佐        |
| (4) 団 員 | 西 岡 八 郎 (人口教育)        |
|         | 産業能率大学異文化圏研究所研究員      |
| (5) 団 員 | 成 田 明 敏 (業務調整)        |
|         | 国際協力事業団医療協力部医療協力特別業務室 |

### Ⅲ 調 査 日 程

| 日順 | 月 日   | 曜日 | 調 査 概 要  |
|----|-------|----|--|
| 1  | 3月 6日 | 水  | 東京発 JL-012 メキシコシティ着  |
| 2  | 7日    | 木  | 10:00～16:00 国家人口審議会（CONAPO）表敬・打合せ<br>17:30～18:30 JICA事務所との打合せ  |
| 3  | 8日    | 金  | 10:00～14:00 CONAPOとの協議<br>16:00～19:00 CONAPOとの協議   |
| 4  | 9日    | 土  | 10:00～20:00 調査団内打合せ  |
| 5  | 10日   | 日  | 9:00 ホテル発 プエブラ州に向う   |
| 6  | 11日   | 月  | 10:00～13:30 プエブラ州人口審議会との打合せ<br>13:30～ プエブラ市長表敬<br>15:00 プエブラ発 メキシコシティに戻る<br>18:00～19:30 JICA事務所との打合せ |
| 7  | 12日   | 火  | 9:00～12:30 CONAPOとの協議<br>13:00～15:30 INEGI視察<br>16:00～17:00 JICA事務所との打合せ                             |
| 8  | 13日   | 水  | 10:00～13:00 CONAPOとの協議<br>14:30～15:30 JICA事務所との打合せ<br>16:00～19:00 CONAPOとの協議                         |
| 9  | 14日   | 木  | 10:00～13:30 CONAPOとの協議<br>15:00～16:30 JICA事務所との打合せ<br>17:00～20:00 CONAPOとの協議                         |
| 10 | 15日   | 金  | 10:00～14:30 CONAPOとの協議<br>16:00～17:00 JICA事務所との打合せ<br>17:30～21:00 CONAPOとの協議                         |
| 11 | 16日   | 土  | 10:00～20:30 ミニッツ作成（於：CONAPO）   |
| 12 | 17日   | 日  | 休  |
| 13 | 18日   | 月  | 9:20～9:50 JICA事務所との打合せ<br>10:20～14:45 CONAPOとの最終協議<br>ミニッツ署名   |
| 14 | 19日   | 火  | メキシコシティ発 JL-011  |
| 15 | 20日   | 水  | →東京着   |

## Ⅳ 調 査 報 告

### 1. 人口統計関係

第1日(3月7日)

最初に、今回の調査団の日程の打合せがおこなわれたが、引続き、CONAPO側からメキシコ人口家族計画プロジェクトの進行状況に関する説明があった。人口統計に関するものは、グチーレス局長から、大要、次のような説明があった。

人口データバンクの作成に関しては、12月のミッションにより提示された計画のリストに基づき、作業をおこなっているが、これまで、人口センサスと人口動態統計についてのデータ収集をおこなった。これまで、州別の男女、年齢別人口数、出生数及び死亡数のデータを年次別に収集・整理した「州別人口ファイル」を作成し、現在、ほぼ全州について終了している。しかし、ミッションにより提示されたMunicipio(郡)別には未着手である。全国で3000以上のMunicipioがあるので、これについては人手と時間をかなり必要とするためである。

引続き、人口教育関係の作業の進行状況の説明がおこなわれた後、マルチネス事務総長が出席したので、小林団長から、次のような質問をおこなった。

- ① コンピュータ設置のための予算の見通しはどうなっているか。
- ② コンピュータ導入後の要員の配置をどのように考えているか。
- ③ CONAPOにおける日本人専門家の位置づけをどのようにするか。

これに対して、マルチネス事務総長から、次のような回答があった。

①については、現在、内務省に申請中であり、週末に内務省官房長からその結果が伝えられるので、来週月曜日に返事をしたい。

②については、CONAPOの情報処理部長として、内務省からコンピュータの経験者であるオロスコ氏に来てもらったので、この人を中心に要員配置を考えたい。その他の要員については、グチーレス局長の下の職員をあてることを考えている。

③については、CONAPOの組織図の中に日本人を入れることはできないが、精神的に高い地位を保障するつもりである。

マルチネス事務総長の退席後、グチーレス局長から、コンピュータの導入に関してCONAPO側の事情の説明が、大要、つぎのとおりなされた。

メキシコの会計年度は1月から12月までであるが、次年度予算の要求は8月に提出する。翌年の1月下旬に予算企画庁がこれを決定するが、本年は、例年と異なり、経済危機のため、予算削減がおこなわれた。しかも、2月になって、第2次の予算削減が出された。コンピュータ導入に関しては、JCAの機種決定が8月以後に判明し、また導入のためのCONAPOの負

担費用が明らかになったのは12月であったがその時点では、補正予算として内務省の官房も認めるということであった。1月中旬に内務省の官房長がかわり、CONAPOの補正予算の要求は、1件にまとめてほしいということになり、コンピュータの導入経費もそれに含めて要求している。

また、コンピュータの導入手続きについては、12月22日に、JICAとIBMとの契約書が出されたが、JICAとCONAPOの両者のサインが必要とのことであったが、CONAPOは、内務省の承認がなかったのでサインできなかった。免税措置については、大蔵省とIBMに相談したが、困難とのことであった。情報機器の導入の際には、さらにINEGI（国家地理統計庁）の承認が必要であるが、これについては、すでに承認をもらっている。

#### 第2日（3月8日）

CONAPOにおいて、まず、機材の提供に関するCONAPO側の要求を聴取した後人口データバンクに関連して、グチーレス局長から、CONAPOにおけるコンピュータの利用計画について、大要、次のような説明があった

コンピュータが導入された後、人口データバンクの構築のほか、CONAPOにおける各種標本調査の集計、国内・国際移動調査の集計、分析等に利用したい。また、全国世帯調査で州間、対米移動調査をおこなう予定であるが、この集計、分析や、中米からメキシコへの移住者の調査の集計・分析、出生力調査の分析等にも利用したい。さらにUNFPAから、各州にマイクロ・コンピュータを提供してもらうことになっているが、CONAPOをキー・ステーションとして、COEPO（州人口審議会）を結び、INEGIとも結んで、INEGIの人口データを各COEPOに提供するシステムをつくることを考えている。これに関しては、INEGIの同意を得ている。これによって、INEGIのもっている各種の人口データを、CONAPOの人口データバンクに提供してもらうことができる。また、将来人口推計も、INEGIとの共同作業により実施することとしている。

この後、IBMのカルロス・ラグナ氏が出席したので、コンピュータの据付けに関して、その費用、納入手続き、契約の実行に関する質問をおこなった。

#### 第3日（3月9日）

調査団の内部において、今後の対応策を協議した。とくにコンピュータの要員の問題、研修計画、研修員の受入れ、専門家派遣について検討した。

#### 第4日（3月10日）、第5日（3月11日）

プエブラ州人口審議会を訪問し、その活動状況の報告を受けた。

なお、3月11日には、プエブラのCOEPOの訪問の後、 Cholula市を訪問。その後、小林団長は“日本における人口と開発”と題する講演の依頼があり、プエブラ市において講演をおこなったが、調査団員の一部は、別途、メキシコ市に帰り、JICA事務所において、コンピュータ導入に関する対応策の協議をおこなった。

#### 第6日(3月12日)

マルチネス事務総長から、予算措置に関する内務省官房長からの回答の結果を聞くことにしていたが、CONAPO部内の連絡が不十分であったため、マルチネス事務総長を含めたCONAPO側との協議は、翌日(3月13日)におこなうこととし、小林団長と成田団員は、JICA事務所では対応策の協議を、大友、山下、畑団員及び武田調整員は、IGEGIを訪問し、INEGIにおける人口データの保存、提供の問題、CONAPOとの協力関係について、統計局長に会い、協議した。

INEGIでは、統計局長カルロス・ハルケ氏のほか、人口センサス部長、社会統計部長も列席した。まず、CONAPOとの協力関係について質問したが、統計局長も、これについては同意しており、近く、CONAPOあてに共同作業に同意する旨の承諾の文書を発送することであった。また、人口センサスの個票データのテープは、1980年のみは、すべて保有してあるが、1970年センサスについてはサンプル・データのみであること、結果テープのCONAPOへの貸し出しはまったく問題ないが、個票データについては、秘密の保持のためにそのままはできないこと。ただし、INEGIにおける特別の集計は可能であることが明らかになった。さらに、人口動態統計、その他の社会・経済統計についても、テープで保有してあるものについては、テープで提供できるとのことであった。

IGEGIのコンピュータは、UNIVACのものであるが、IBMとの交換性はあるので、テープ・コピー等は問題がないとのことであった。

#### 第7日(3月13日)

CONAPOの事務総長マルチネス氏ほかサーベドラ、グチーレス、リベラ、オロスコの各幹部の出席を得て、このプロジェクトの推進に際し、日本側が懸念していることがらの質問及び意見を伝えた。人口統計に関連するものは、つぎのとおりである。

- ① コンピュータは、本年度内に導入することになっているが、そのための導入経費をCONAPO側で負担できるか。
- ② 輸入許可申請、免税措置の手続きをただちにおこなうこと。
- ③ コンピュータの搬入までに付帯工事を完了させること。
- ④ コンピュータ要員を早急に配置すること。コンピュータ要員は、コンピュータ プロ

グラフィック、オペレーション、管理を専ら担当する者として2名、他の業務をおこないつつながら、同上の活動をおこなう者2名、さらに、人口データバンクの作業のためのデータ入力の実務員が6名が最少限必要であると考えられるので、この要員の人選を早急に実施すること。

なお、コンピュータ要員の人選を急ぐ理由は、これらの人々に対して研修を十分におこなわねばならず、早急に研修をスタートさせたいからである。

これらの質問、意見に対して、マルチネス事務総長から、概要、つぎのような回答があった。

①に対しては、予算枠が認められたので、CONAPOで負担する。エア・コンも合わせてつけたい。

②については、コンピュータの購入許可は、INEGIからすでに得ているが、免税措置については、それが不可能である場合でも税金分はCONAPOが負担する。

③については、付帯工事は業者が決まってから5週間かかる。また、業者は、競争入札によって決めるのが、この国の規則であり、そのために、公示をしなければならないが、公示期間は通常1か月である。したがって、付帯工事の完了は、急いでも6月中ということになる。もちろん、これをある程度短縮させることはできないことはないが……。

④のコンピュータ要員については、オロスコ氏を責任者として、必要な人員を早急に決定したい。

この協議の後、1985年計画の見直しについて打合せた。人口統計に関するものは、概要、つぎのとおりである。

まず、グチーレス氏から、12月のミッションでは、CONAPOが収集すべきデータの収集計画を決めただけで、データバンクのデザインについては具体的な話し合いはしなかったもので、これについて、日本側の意見を聞きたいとの意向が出された。また、人口データバンクの構築と合わせて、CONAPOでは、将来人口推計をおこないたいと考えているので、推計の手順を具体的に示してほしいとの意向も出された。

これに対して、日本側は、つぎのような回答をおこなった。

CONAPOに導入予定のコンピュータIBMのS/38は、データベースを作成することを目的としたもので、従来のように、データバンクを作成するための手間のかかる事前作業をかならずしも必要としない機能をもっている。日本側がデータバンクのデザインの具体的なものを未だ提示していないのは、S/38そのものが新機種であるため、その機能について具体的なものを十分に把握していないためであり、導入後、S/38のマニュアルが正式に入手できれば、それにしたがって具体案を提示したい。また、人口学の長期専門家がメキシコに6月中に出発するので、コンピュータと人口学の専門家が共同して案づくりをおこなう予定であ

る。もちろん、データバンクのデザインの作成の主体は、CONAPOであるので、CONAPOの担当者とも協議することになる。

さらに、将来人口推計については、データバンクの構築と平行しながら実行することができるので、1985年の後半に、専門家が短期ではあるが、派遣される予定であり、その方法等について協議することを考えている。いずれにしても、コンピュータ要員の早期決定とその研修が先におこなわれなければならないので、その後、3か月滞在する山下が、これを担当する。

#### 第8日（3月14日）

この日の朝、畑、西岡両氏が帰国。

IBMのラグナ氏をCONAPOに呼び、S/38の導入に関する手続き、IBMにおける研修、コンピュータの保守等についての質問をおこなった。

IBMにおける研修については、メキシコ市に現地研修センターがあるので、そこでおこなうが、いろいろなコースがあり、ハードウェア関係のものを除いては、ほとんど有料であるとのことであった。研修時期も期間は、年2回に分け、コースでとくに必要な時間の研修をおこなう。人数がまとまれば、特別にコースをつくることもできるとのことであった。

さらに、付帯工事業者（ソルカ氏）を呼びCONAPOの参考とさせるために、工事の仕方、工事期間等について聴取した。工事は約3週間で可能とのことであった。

この後、1985年度計画の見直しを主として人口教育に関しておこなった。人口統計に関しては、人口データバンクのうち、Municipio別データの収集を日本側が提示した理由は、CONAPOが都市別の将来人口推計や人口階級別人口（Municipioの）将来推計をしたいという意向をもっているためであるとして説明したところ、CONAPO側としては、全国のMunicipio別に人口データを収集をするのは大変な作業量になるし、CONAPOで考えている都市の将来人口推計は、大都市地域内の都市や国境地帯の都市についてであり、全国的におこなうことは考えていないとのことであった。したがって、この作業については、データバンクの構築の作業の進行状況をみながら、後日、決定することに意見の一致をみた。

#### 第9日（3月15日）

日本人専門家の派遣及びメキシコからの研修員の受入れについて、CONAPO側と協議した。また、コンピュータの要員研修の計画案をCONAPO側に示し、同意を得た。

この後、今回の協議による合意事項をとりまとめたMinutesの条文の作成をCONAPO側と共同しておこなった。

第10日（3月16日）

前日に引き続き、Minutesの條文を英文と西文の両方で作成する作業をおこなった。

第11日（3月17日） —（休日）

第12日（3月18日）

JICA現地事務所においてMinutes案の内容の確認をおこなった後、CONAPOにおいてその審議をおこなった。若干の字句修正をおこない、最終的に、小林団長とマルチネス事務総長が、それぞれサインをし、Minutesを決定した。

第13日（3月19日）

帰国。

## 2. 総括

### 1. 経過

メキシコ国の人口活動を促進することを目的とした日本の技術協力は、すでに実施の段階に入っている。これは、1983年11月20日～12月10日に協力計画策定専門家チームが派遣されて協議を行い、それを受けて1984年7月1日～12日に実施協議調査団が派遣され、日本側調査団長ならびにメキシコ側国家人口審議会事務総長によって、討議々事録（R/D）および協力計画（年次計画）に関する覚書に署名が行われることによって発足したものである。

このメキシコ人口活動促進プロジェクトは、国家人口審議会事務局（以下CONAPOという）をメキシコ側の協力機関とし、1988年10月3日までを協力期間とし、日本人専門家の派遣、メキシコ人研修員の受入れ、機材供与、中堅技術者養成の4つを基本的協力事項とするが、人口活動の内容からいえば、人口データバンクの整備とその利用および人口教育の実施の2分野に大別される。

人口データバンクの整備・利用は、コンピュータ等データバンク基本機材の導入、それによる基本的人口データ、社会経済データの整備、国レベルおよび州レベルの将来人口推計、社会経済開発と関連した人口の諸推計の実施などを主要な活動とし、人口教育は、州政府の人口教育担当官の訓練、州別の人口教育関係の基礎調査、特定地域におけるパイロット調査の実施などを主要な活動とするもので、前述の日本人専門家の派遣等の4つの基本的協力は、上記の人口データバンクと人口教育との両分野に関して展開されることが期待されている。なお、人口データバンクと人口教育とは互に独立した活動分野であると考えられる必要はない。

人口教育の活動に関連して収集されたデータの電算機的処理の必要性は、将来当然生ずるものと考えられ、人口教育分野もコンピュータの利用に積極的になることを、われわれは望ましい方向であると考えている。

さて、かくして発足した協力計画に基づき、メキシコ人研修員として、1984年11月9日～28日に CONAPOの企画局長と事業運営局長との2名を受入れた。この両局長は当人口活動促進プロジェクトのメキシコ側の中心的なカウンターパートであり、滞日中の11月19日には、国際協力事業団の主催で、同プロジェクト日本側関係者との打合せ会が開かれている。

ついで、1984年12月2日～15日に、9名からなる日本人専門家チームが CONAPO に派遣され、人口データバンク分野については、導入すべき機材ならびにデータの整備と人口推計に関する計画の詳細なる検討を行い、人口教育分野については、基礎調査ならびにパイロット調査の進捗状況の確認および専門的アドバイスを行い、特にパイロット調査に関しては、きわめて積極的な構想の提案を行った。

1985年2月から、当人口活動促進プロジェクトの日本側コーディネーター1名が長期派遣され、CONAPOに常駐して、早速業務調整の実務が開始された。

こうして、この人口活動促進プロジェクトの第1年度末を迎え、1985年3月6日～20日に6名からなる計画打合せ調査団が、第1年度の活動を評価し、第2年度の協力計画を樹立し、第3年度以降については必要に応じて暫定協力計画の見直しを行うために派遣され、協議結果の合意事項の覚書に日本側調査団長ならびに CONAPO 事務局長によって署名が行われた。

以下は、この今回の調査団と CONAPO との間で合意に達した今後の協力計画の要点について述べるものである。

## 2. 日本人専門家の派遣計画

### (1) 人口学専門家の短期派遣

1985～1988年毎年1回2名ずつ。

### (2) 人口学専門家の長期派遣

1985年6月より1年間1名。1986年6月より1988年9月まで1名。

### (3) 統計学専門家の短期派遣

1985～1988年毎年1回1名。

### (4) コンピュータ・プログラミング専門家の短期派遣

今回の調査団に参加した専門家1名が3ヶ月滞在する。

### (5) コンピュータ・プログラミング専門家の長期派遣

1985年5月より1年間1名。それ以後1988年までの延長派遣も暫定的に考慮に入れておく。1986年5月より1年間もう1名。これについては1985年からの派遣開始も暫定的に考慮に入れておく。

(6) 社会人類学専門家の長期派遣

1985年5月から1年間1名。

3. メキシコ人研修員の受入れ計画

- (1) 基本的人口データの整備および将来人口推計に関し、1985～1988年に毎年1名ずつ。
- (2) 基本的社会経済データの整備および派生推計に関し、1986～1988年に毎年1名ずつ。
- (3) コンピュータシステムのデザイン、プログラミング、プロセッシングに関し、1985、1987、1988年に1名ずつ。
- (4) 人口教育の基礎調査およびパイロット調査に関し、1985、1986、1988年に1名ずつ。
- (5) 情報・教育・コミュニケーションに関し、1985～1987年に毎年1名ずつ。

4. 機材供与計画

詳細は別添の年次計画表のとおりであるが、今回の調査団の協議事項のうちでも特に重要な部分を占めたコンピュータについて簡単に問題点をのべる。機材導入に当って CONAPO 側が経費負担すべき税金（免税措置がとれなかった場合）、付帯工事費の負担能力、（米国からの）機材到着は付帯工事完了後でなければならぬのかんがみ、付帯工事完了時期の的確な予想とそれに見合う機材発注時期の決定ならびに価格上昇と発注時期との関係、CONAPO 側における必要数のコンピュータ要員の確保の可能性と彼等に対する研修計画等々、1985年度中にコンピュータが導入され、それが早急に活用されるようにするためには、諸種の事柄が相互にタイミングよく進行しなければならない。今回の調査団の協議では、当初これらのうちで、いくつかの不確定要素があったが、日墨双方において、その確定化に努力した結果、1985年度中にコンピュータを導入する明るい見通しを得るに至り、1985年7月末までにその機材導入に必要な付帯工事が完了されるものとするという1項が覚書に入れられた。

5. 日本人専門家の位置付け

CONAPOは日本人専門家を国際専門家として認め、CONAPO事務局長の署名・発行する身分証明書が交付されるものとする。また、日本人専門家に対し、CONAPOは適切なるオフィスと便宜を提供するものとする。

6. その他

CONAPOが確保、配置すべきコンピュータ要員の数とその職務分担、ならびに1985年にメキシコにおいてコンピュータ・システムに関してCONAPO職員に対して行われるべき研修のスケジュールについては、その基本計画が覚書に添付された（Appendix №4、№5参照）。

## V. 添 付 資 料



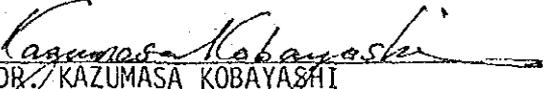
THE MINUTES OF DISCUSSIONS BETWEEN JAPANESE PROGRAM  
REVISION MISSION AND THE NATIONAL POPULATION COUNCIL  
OF THE UNITED MEXICAN STATES ON THE PROJECT FOR  
PROMOTION OF POPULATION ACTIVITIES IN THE UNITED  
MEXICAN STATES

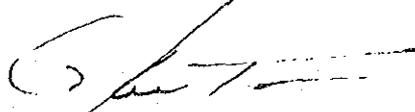
The Japanese Program Revision Mission (hereinafter referred to as "the Mission") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Dr. Kazumasa Kobayashi visited the United Mexican States from March 6 to March 19, 1985 with the end to review the program of the Japanese fiscal year 1984 of the Project for Promotion of Population Activities in the United Mexican States (hereinafter referred to as "the Project") on the ground of the Record of Discussions signed on July 4, 1984, and consequently to revise the Project program for the Japanese fiscal year 1985.

The Joint Committee composed of the Mission and the National Population Council (hereinafter referred to as "CONAPO") had a series of positive discussions on the Project, and reached the consensus described in the documents attached hereto.

The plans of dispatch of Japanese experts, receiving Mexican personnel in Japan, providing equipment for the Project for the Japanese fiscal year 1984 and thereafter originally described in the Record of Discussions will be replaced by those described in the present minutes.

March 18, 1985 at Mexico City.

  
DR. KAZUMASA KOBAYASHI  
Leader of the Program Revision  
Mission  
Japan International Cooperation  
Agency  
Japan

  
LIC. GERONIMO MARTINEZ GARCIA  
Secretary General  
National Population Council  
The United Mexican States

1. Time of arrival and duration of stay in Mexico and the specialized field of each Japanese expert are described in appendix No. 1.
2. Each Japanese expert will be recognized as an International Expert by CONAPO. His/her identification, to which his/her photograph is attached, will be signed and issued by the Secretary General of CONAPO.
3. Appropriate office and facilities for each Japanese expert will be provided by CONAPO.
4. Training of CONAPO personnel in Japan will be undertaken by JICA as shown in appendix No. 2.
5. Equipments necessary for the population activities of CONAPO will be provided by and within the budget of JICA, as shown in appendix No. 3.
6. The computer personnel of CONAPO as shown in appendix No. 4 will be nominated by the Secretary General of CONAPO.
7. Training of the computer personnel of CONAPO in Mexico will be undertaken as shown in appendix No. 5.
8. Construction necessary for installation of the computer system of S/38 will be finished by the end of July 1985 by own budget and under the responsibility of CONAPO.
9. All the costs of taxes induced by the introduction of the computer system of S/38 will be paid by CONAPO.

APPENDIX No. 1 PLAN FOR DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

| FIELDS OF SPECIALITIES  | 1984                                | 1985                              | 1986                             | 1987     | 1988                             |
|---|-------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|----------|----------------------------------|
| (1) For Preparation<br>Demography (2)<br>Administration (1) JICA<br>Staff.        | <u>8</u><br><u>8</u>                |                                   |                                  |          |                                  |
| (2) Coordination (1)  | <u>12</u>                           | <u>2</u>                          |                                  |          | <u>9</u>                         |
| (3) Demography (2)<br>Demography (1)<br>Demography (1)                            | <u>12</u><br><u>12</u><br><u>12</u> | <u>6</u><br><u>11</u><br><u>6</u> | <u>8</u><br><u>6</u><br><u>6</u> | <u>8</u> | <u>7</u><br><u>7</u><br><u>9</u> |
| (4) Statistics (1)  | <u>12</u>                           | <u>11</u>                         | <u>8</u>                         | <u>8</u> | <u>7</u>                         |
| (5) Computer programming(1)<br>Computer programming(1)<br>Computer programming(1) |                                     | <u>3</u><br><u>5</u><br><u>5</u>  | <u>5</u><br><u>5</u><br><u>5</u> |          | <u>9</u>                         |
| (6) Social Anthoropology(1)<br>Social Anthoropology(1)                            | <u>12</u><br><u>12</u>              | <u>5</u>                          | <u>5</u>                         |          |                                  |
| (7) Sociology (1)   | <u>12</u>                           |                                   |                                  |          |                                  |
| (8) Rural Development (1)   | <u>12</u>                           |                                   |                                  |          |                                  |
| (9) Urban Development (1)   | <u>12</u>                           |                                   |                                  |          |                                  |
| (10) Public Health (1)  | <u>12</u>                           |                                   |                                  |          |                                  |
| (11) I.E.C. (1)   |                                     | <u>3</u>                          |                                  |          |                                  |

APPENDIX NO. 2 PLAN OF RECEIVING MEXICAN PERSONNEL IN JAPAN

| FIELD  | 1984                     | 1985     | 1986     | 1987     | 1988     |
|--|--------------------------|----------|----------|----------|----------|
| 1. Preparation of basic demographic data & projections.                | <u>11</u><br>( 1 Person) | <u>5</u> | <u>5</u> | <u>5</u> | <u>5</u> |
| 2. Preparation of basic socio-economic data and derivative estimation. | <u>11</u><br>( 1 Person) |          | <u>5</u> | <u>5</u> | <u>5</u> |
| 3. Design of computer systems, programming, and/or processing.         |                          | <u>5</u> |          | <u>5</u> | <u>5</u> |
| 4. Basic study & pilot study for population education.                 |                          | <u>5</u> | <u>5</u> |          | <u>5</u> |
| 5. Information, education & communication.                             |                          | <u>5</u> | <u>5</u> | <u>5</u> |          |

APPENDIX No. 3 PLAN OF PROVIDING EQUIPMENT FOR THE PROJECT \*

| NAME OF EQUIPMENT & MATERIALS                                   | 1984  | 1985  | 1986  | 1987  | 1988  |
|---|-------|-------|-------|-------|-------|
| I. Equipment for computer systems                               |       |       |       |       |       |
| 1. Mini computer  | 1     |       |       |       |       |
| (1) C.P.U   |       |       |       |       |       |
| (2) Magnetic Disk Unit  | 1     | 2     | 2     | 1     |       |
| (3) Printer Unit  | 2     | 2     | 3     | 2     |       |
| (4) Display Unit  |       | 1     |       |       |       |
| (5) Magnetic Tape Unit  |       |       | 1     |       |       |
| (6) High Speed Printer Unit                                     |       |       |       |       |       |
| 2. Materials necessary for use of mini computer.                | 1 Set | 1 Set | 1 Set | 1 Set |       |
| 3. Word Processor   | 2     |       |       |       |       |
| 4. Materials for statistics (Papers for tabulation, scale etc.) | 1 Set |
| II. Equipment for training & survey                             |       |       |       |       |       |
| 1. Vehicles for field studies and training.                     | 8     | 12    | 10    | 10    |       |
| 2. Vehicles (Mini bus)  |       | 1     | 1     |       |       |

| NAME OF EQUIPMENT & MATERIALS                                  | 1984 | 1985  | 1986  | 1987  | 1988 |
|--|------|-------|-------|-------|------|
| 3. Electric Typewriter   | 5    | 12    | 10    | 10    |      |
| III. Audio-visual Equipment                                    |      |       |       |       |      |
| 1. Video Monitor Set   |      | 15    | 10    | 10    |      |
| 2. Audio System, (Amplifier, Speaker, Microphone, Mixer, etc.) |      | 2     |       |       |      |
| 3. 16mm film Projector with Screen.                            |      | 17    | 52    |       |      |
| 4. Slide Projector sound System                                |      | 37    | 32    |       |      |
| 5. Over Head Projector with materials,                         |      | 15    | 10    | 10    |      |
| 6. Portable Video Camera                                       |      | 17    | 10    | 7     |      |
| 7. Open Reel Tape Recorder                                     |      | 3     |       |       |      |
| 8. Radio cassette Tape Recorder.                               |      | 3     |       |       |      |
| 9. Cassette Tape Recorder                                      |      | 69    | 32    |       |      |
| 10. 35 mm camera   | 5    | 32    |       |       |      |
| 11. Video tape 3/4   |      | 300   |       |       |      |
| 12. Cassette Tape (C-60)                                       |      | 3,700 | 2,600 | 1,000 |      |
| 13. 35 mm Film (nega. & pos).                                  |      | 3,200 | 500   | 500   |      |
| 14. 16 mm Film affixer   |      | 2     |       |       |      |
| 15. 16 mm Film winder  |      | 2     |       |       |      |
| 16. Lenses for camera (normal), angular and telephoto.         |      | 14    |       |       |      |
| 17. Dissolvent control for slide projector.                    |      | 3     |       |       |      |

| NAME OF EQUIPMENT & MATERIALS   | 1984 | 1985        | 1986 | 1987 | 1988 |
|---|------|-------------|------|------|------|
| 18. Wireless microphone and amplification system.<br>19. Audio mixer console<br>20. Transfer equipment from 16 mm. film to videocassette. |      | 3<br>1<br>1 |      |      |      |
| *NOTE: Machinery and materials described changed and/or added by mutual agreement upon as necessary                                       |      |             |      |      |      |

#### APPENDIX NO. 4 NOMINATION OF COMPUTER PERSONNEL

For the purpose of running efficiently the computer system of S/38 - - introduced in CONAPO by JICA, CONAPO will nominate at least four persons - as the computer personnel engaged in designing systems, programming and/or processing of computer. Of those persons, two will be engaged exclusively in designing systems, programming and/or processing of computer, and - management of the computer system equipment, the others will be engaged - exclusively in promoting the application of the computer system to their activities in CONAPO.

Furthermore, CONAPO will nominate at least six persons as the computer personnel engaged in inputting data to the computer system of S/38.

APPENDIX No. 5 SCHEDULE OF TRAINING ON COMPUTER SYSTEMS  
FOR CONAPO PERSONNEL IN MEXICO FOR 1985.

I. Training on General Knowledge on Computer Systems.

- (1) Introduction to Computer Systems, to be held in March for 12 hours by Japanese expert.
- (2) Development and Application of Computer Systems, to be held in - April for 20 hours by Japanese expert.

II. Training on Computer System S/38.

- (1) Outline of Computer Systems, Programming Languages and Application Programs, to be held in May for 24 hours by Japanese expert.
- (2) RPG and BASIC Languages, to be held in June for 20 hours by IBM expert.
- (3) Data Input and Data Base, to be held in July for 20 hours by IBM expert.
- (4) Practical Training of Computer System S/38, to be held in August for 10 hours by Japanese expert.

III. Training for the Personnel to be engaged in Data-Input, to be held in September for 10 hours by Japanese expert.

NOTE: I-(1) and I-(2) are for all personnel interested in computer systems.

II-(1), (2), (3) and (4) are for the personnel to be engaged in - designing systems, programming and/or processing of computer.

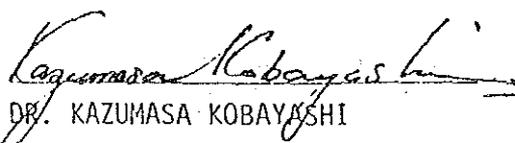
MINUTA DE LAS DISCUSIONES ENTRE LA MISION JAPONESA PARA LA REVISION DE PROGRAMAS Y EL CONSEJO NACIONAL DE POBLACION SOBRE EL PROYECTO PARA LA PROMOCION DE ACTIVIDADES EN POBLACION EN LOS ESTADOS UNIDOS MEXICANOS.

La Misión Japonesa para la revisión de programas (que en lo sucesivo se denominará "Misión"), organizada por la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (que en lo sucesivo se denominará "JICA") y encabezada por el Prof. Dr. Kazumasa Kobayashi, visitó los Estados Unidos Mexicanos del 6 al 19 de marzo de 1985, con el propósito de revisar el estado de avance de los programas para el año fiscal japonés de 1984 del Proyecto para la Promoción de Actividades en Población en los Estados Unidos Mexicanos (que en lo sucesivo se denominará "El Proyecto"), sobre la base del Registro de Discusiones firmado el 4 de julio de 1984 y, en consecuencia, revisar los programas del Proyecto para el año fiscal japonés de 1985.

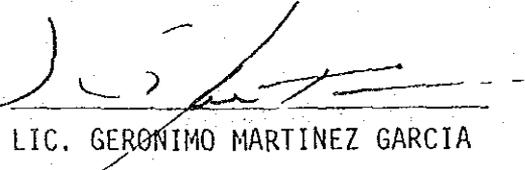
El Comité Técnico compuesto por la Misión y el Consejo Nacional de Población (que en lo sucesivo se denominará "CONAPO") tuvieron una serie de fructíferas discusiones sobre el Proyecto y llegaron al acuerdo que se describe en los documentos que se anexan.

Los planes de envío de expertos japoneses a México, de la capacitación del personal mexicano en Japón y el aprovisionamiento de los equipos para el Proyecto para el año fiscal japonés de 1984 anexados a esta Minuta reemplazarán los planes señalados originalmente en el Registro de Discusiones.

México, D.F., a 18 de marzo de 1985.



DR. KAZUMASA KOBAYASHI  
Jefe de la Misión Japonesa  
para la Revisión de Programas  
Agencia de Cooperación Internacional  
del Japón, Japón.



LIC. GERONIMO MARTINEZ GARCIA  
Secretario General del Consejo  
Nacional de Población de los  
Estados Unidos Mexicanos.

1. Fecha de llegada, duración de su estancia en la Ciudad de México y -  
área de especialización de cada uno de los expertos japoneses, se -  
describen en el Anexo No. 1
2. Cada experto japonés será reconocido como experto internacional del -  
CONAPO. El CONAPO les proveerá de una carta de identificación firma-  
da y expedida por su Secretario General.
3. El CONAPO asignará a cada uno de los expertos japoneses oficinas y -  
medios adecuados para el desempeño de su trabajo.
4. La capacitación del personal del CONAPO en Japón se realizará por -  
JICA de acuerdo con el Anexo No. 2.
5. Los equipos necesarios para las actividades del CONAPO en materia de  
población serán proporcionados por JICA, dentro de su presupuesto, -  
de acuerdo con el Anexo No. 3.
6. El Secretario General del CONAPO asignará el personal necesario para  
el equipo de cómputo, de acuerdo con el Anexo No. 4.
7. La capacitación en México del personal de cómputo del CONAPO se reali-  
zará de acuerdo con el Anexo No. 5.
8. El CONAPO llevará a cabo, con sus propios recursos y bajo su responsa-  
bilidad las obras necesarias para la instalación del equipo de cómpu-  
to, mismas que estarán terminadas para finales del mes de julio de -  
1985.
9. El CONAPO cubrirá todos los gastos por concepto de impuestos deriva-  
dos de la introducción del sistema de cómputo S/38.

ANEXO No. 1 PLAN DE ENVIO DE EXPERTOS JAPONESES

| ESPECIALIDADES                     | 1984      | 1985      | 1986     | 1987     | 1988     |
|------------------------------------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| (1) Preparación                    |           |           |          |          |          |
| Demografía (2)                     | <u>8</u>  |           |          |          |          |
| Administración (1) personal JICA.  | <u>8</u>  |           |          |          |          |
| (2) Coordinación                   | <u>12</u> | <u>2</u>  |          |          | <u>2</u> |
| (3) Demografía (2)                 | <u>12</u> | <u>11</u> | <u>8</u> | <u>8</u> | <u>7</u> |
| Demografía (1)                     |           | <u>6</u>  | <u>6</u> |          | <u>9</u> |
| Demografía (1)                     |           |           |          |          |          |
| (4) Estadística (1)                | <u>12</u> | <u>11</u> | <u>8</u> | <u>8</u> | <u>7</u> |
| (5) Programación computarizada (1) |           | <u>3</u>  |          |          |          |
| Programación computarizada (1)     |           | <u>5</u>  | <u>5</u> |          |          |
| Programación computarizada (1)     |           |           | <u>5</u> |          | <u>9</u> |
| (6) Antropología social (1)        | <u>12</u> | <u>5</u>  | <u>5</u> |          |          |
| Antropología social (1)            |           |           |          |          |          |
| (7) Sociología                     | <u>12</u> |           |          |          |          |

| ESPECIALIDADES                                    | 1984      | 1985 | 1986 | 1987 | 1988 |
|---|-----------|------|------|------|------|
| (8) Desarrollo rural                              | <u>12</u> |      |      |      |      |
| (9) Desarrollo urbano                             | <u>12</u> |      |      |      |      |
| (10) Salud pública                                | <u>12</u> |      |      |      |      |
| (11) Información, Educación<br>y Comunicación (1) |           | 3    |      |      |      |

ANEXO No. 2 PLAN PARA RECIBIR AL PERSONAL MEXICANO EN JAPON

| ESPECIALIDADES   | 1984                     | 1985     | 1986     | 1987     | 1988     |
|--|--------------------------|----------|----------|----------|----------|
| 1. Preparación de datos básicos -<br>demográficos y proyecciones.                | <u>11</u><br>(1 Persona) | <u>5</u> | <u>5</u> | <u>5</u> | <u>5</u> |
| 2. Preparación de datos básicos -<br>socioeconómicos y estimación -<br>derivada. | <u>11</u><br>(1 Persona) |          | <u>5</u> | <u>5</u> | <u>5</u> |
| 3. Diseño de sistemas de cómputo,<br>programación y/o procesamiento.             |                          | <u>5</u> |          | <u>5</u> | <u>5</u> |
| 4. Estudio básico y estudio piloto<br>para educación en población.               |                          | <u>5</u> | <u>5</u> |          | <u>5</u> |
| 5. Información, Educación y Comuni-<br>cación.                                   |                          | <u>5</u> | <u>5</u> | <u>5</u> |          |

ANEXO No. 3 PLAN DE APROVISIONAMIENTO DE EQUIPOS PARA EL PROYECTO \*

| NOMBRE DE EQUIPOS Y MATERIALES                                       | 1984    | 1985    | 1986    | 1987    | 1988    |
|--|---------|---------|---------|---------|---------|
| i. Equipos para sistema de cómputo                                   |         |         |         |         |         |
| 1. Minicomputadora.  |         |         |         |         |         |
| (1) C.P.U.   | 1       |         |         |         |         |
| (2) Unidad disco magnético   | 1       |         |         |         |         |
| (3) Unidad impresora   | 1       | 2       | 2       | 1       |         |
| (4) Unidad display   | 2       | 2       | 3       | 2       |         |
| (5) Unidad cinta magnética   |         |         |         |         |         |
| (6) Unidad impresora de alta velocidad.                              |         | 1       | 1       |         |         |
| 2. Materiales necesarios para la minicomputadora.                    | 1 juego |
| 3. Procesadora de palabras   | 2       |         |         |         |         |
| 4. Materiales para estadística (hojas de tabulación, escalera, etc.) | 1 juego |
| ii. Equipos para capacitación e investigación.                       |         |         |         |         |         |
| 1. Vehículos para estudios de campo y capacitación.                  | 8       | 12      | 10      |         |         |
| 2. Vehículo (Microbus)   |         | 1       | 1       |         |         |
| 3. Máquinas de escribir eléctrica.                                   | 5       | 12      | 10      | 10      |         |

| NOMBRE DE EQUIPOS Y MATERIALES   | 1984 | 1985       | 1986  | 1987  | 1988 |
|--|------|------------|-------|-------|------|
| III. Equipo Audiovisual  |      |            |       |       |      |
| 1. Videocasetera con monitor.  |      | 15         | 10    | 10    |      |
| 2. Sistema de audio (Amplificador, bocina, micrófono, mezclador, etc.) |      | 2 Unidades |       |       |      |
| 3. Proyector de 16 mm. con pantalla.                                   |      | 17         | 52    |       |      |
| 4. Proyector de diapositivas con sistema sonoro.                       |      | 37         | 32    |       |      |
| 5. Retroproyector de película con materiales.                          |      | 15         | 10    | 10    |      |
| 6. Cámara portátil de video  |      | 17         | 10    | 7     |      |
| 7. Grabadora de carrete.   |      | 3          |       |       |      |
| 8. Grabadora de cassette con radio.                                    |      | 3          |       |       |      |
| 9. Grabadora de cassette.  |      | 69         | 32    |       |      |
| 10. Cámara fotográfica 35 mm.  | 5    | 32         |       |       |      |
| 11. Videocassette.   |      | 300 3/4    |       |       |      |
| 12. Cinta de cassette (C-60)   |      | 3,700      | 2,600 | 1,000 |      |
| 13. Film 35 mm. (negativo-positivo).                                   | 500  | 3,200      | 500   | 500   |      |
| 14. Pegadoras de películas de 16 mm.                                   |      | 2          |       |       |      |

| NOMBRE DE EQUIPOS Y MATERIALES   | 1984 | 1985 | 1986 | 1987 | 1988 |
|--|------|------|------|------|------|
| 15. Enrolladoras de -<br>- películas de 16 mm.-                          |      | 2    |      |      |      |
| 16. Lentes para cámara<br>(normal), angular y<br>telefoto.               |      | 14   |      |      |      |
| 17. Controles de disol-<br>vencia para proyector<br>res de diapositivas. |      | 3    |      |      |      |
| 18. Micrófonos inalámbricos<br>y sistema de amplificación.               |      | 3    |      |      |      |
| 19. Consola mezcladora de<br>audio.                                      |      | 1    |      |      |      |
| 20. Equipo de transfer de<br>16mm. a videocassette                       |      | 1    |      |      |      |

\* NOTA: De ser necesario, los equipos y materiales mencionados en este plan pueden ser cambiados y/o agregados según acuerdos mutuos.

#### ANEXO No. 4 ASIGNACION DEL PERSONAL DE COMPUTO

Con el objeto de hacer un uso eficiente del Sistema de Cómputo S/38 que será proporcionado al CONAPO por la JICA, CONAPO nombrará por lo menos a cuatro personas como el personal de cómputo encargado del diseño de los sistemas, la programación y/o la operación del equipo. De éstas, dos se encargarán, exclusivamente, a las actividades mencionadas y a la administración del equipo de cómputo, mientras que las otras se dedicarán exclusivamente a promover la aplicación del sistema de cómputo a sus actividades propias en el CONAPO.

Por otra parte, el CONAPO asignará al menos a seis personas como el personal de cómputo encargado de los insumos de información dentro del sistema de cómputo S/38.

ANEXO No. 5 PROGRAMA DE CAPACITACION SOBRE SISTEMAS DE COMPUTO  
PARA EL PERSONAL DEL CONAPO A REALIZARSE EN MEXICO  
DURANTE 1985.

I. Capacitación sobre el conocimiento general de Sistemas de Cómputo.

- (1) Curso de Introducción a Sistemas de Cómputo con duración de 12 horas, que se dará en marzo por el experto japonés.
- (2) Curso de Desarrollo y Aplicación de Sistemas de Cómputo con duración de 20 horas, que se dará en abril por el experto japonés.

II. Capacitación sobre el Sistema de Cómputo S/38.

- (1) Curso de Esquema Fundamental de Sistemas de Cómputo, Lenguajes de Programación y Programas de Aplicación con duración de 24 horas, que se dará en mayo por el experto japonés.
- (2) Curso de Lenguajes FORTRAN y BASIC con duración de 20 horas, que se dará en junio por expertos de IBM.
- (3) Curso de Insumo de Datos y Base de Datos con duración de 20 horas, que se dará en julio por expertos de IBM.
- (4) Curso de Entrenamiento práctico del Sistema de Cómputo S/38 con duración de 10 horas, que se dará en agosto por el experto japonés.

III. Curso de Capacitación para el personal encargado del insumo de datos con duración de 10 horas, que se dará en septiembre por el experto japonés.

NOTA: - I-(1) y I-(2) son para todo el personal interesado en Sistemas de Cómputo.

- II-(1), (2), (3) y (4) son para el personal encargado del diseño de Sistemas, la Programación y/o el Procesamiento por Computadora.

